

# JR東海労なごや

2019年 5月3日 No1138  
JR東海労名古屋地方本部  
発行者：荻野隆一  
編集者：教宣部

シリーズ6 高齢者労働条件

## 何ら改善されない高齢者の労働条件！！

今回会社が提案した「新人事・賃金制度の見直し」について、社員の定年年齢を65歳とするとしていますが、その条件はあまりにもひどいと言えます。50歳から定期昇給はなし、60歳からは調整手当・扶養手当なし、65歳まで働いても退職金は60歳時と変わらず、10万円余分に支給されるだけです。

唯一今と違うのは基本給が70%になることのみです。しかし、会社は生涯賃金はほぼ変わらないと言っています。つまり、定年が延長されても、何もメリットはないということになります。

### メリットはどこにあるの？

- 50歳から定期昇給はなし
- 60歳からは調整手当・扶養手当なし
- 65歳まで働いても退職金は60歳時と変わらず

## やることは増える、モチベーションは下がる

会社は団交の中で「従来以上に労働力を確保することが必要」「世間的に定年延長が議論されていて、社員が退職まで一層意欲を持って働けるよう定年延長の必要性について検討をしていく」と言っていますが、提案内容はそのような内容にはなっていません。

高齢になれば体力も落ちるし、物忘れなども頻繁に起きます。この状態で安全・安定輸送を守ることは若い時代の何倍も苦勞を強いられることは容易に予想されます。退職金は65歳まで利息も付かないままお預けで、もしもの時には没収されてしまいます。50歳で今後の全てが決定され、何も魅力もない、努力する必要もない。モチベーションは下がる一方だと職場で声が渦巻いています。

## 本人の希望を優先した働く環境を求めます！

これまで、私たちJR東海労名古屋地本は高齢者の労働条件に対し、出向や勤務地など本人希望の尊重、ワークシェアリング、勤務形態、高齢者交番などを何度も申し入れを行ってきました。しかし今回の提案に、私たちの主張は反映されていません。

会社は今回提案した「新人事・賃金制度の見直し」はあくまでも案である。多くの意見を聞きたいと言っています。今こそ高齢者の労働条件の改善の声を、あげてゆきましょう。

**JR東海労は最後まであきらめず声を集約していきます。**